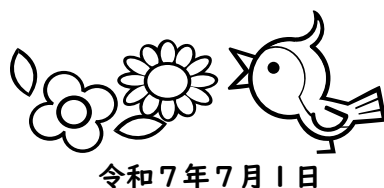




学校だより



令和7年7月1日



☆願いを叶えるのは自分☆

7月7日は七夕です。織姫と彦星が1年に1度だけ会うことができるお話や、願い事を書いて笹に飾る風習が広く親しまれています。子供の頃、流れ星が光っている間に願いを3回唱えることができると願いが叶うという話から、流れ星を見つけたときは、必死になりました。でも、その一瞬に、願い事を唱えることは、結構難しく、なかなか成功することはなかったですが…。何度も何度も願い事を言い続けていると、自分自身の脳がその言葉を繰り返し聞きます。すると、「自分はこれをやりたいんだ」「自分はこれをやるんだ」と願いを強く意識でき、願い事の実現のための大きな力を発揮することができそうです。努力するのはあくまで自分！実現できるかどうかは自分次第なのです。

今年の七夕は、子供たちと一緒に星空を見上げ、流れ星は見えないかもしれませんが、星に向かって、自分たちの大切な願い事を言ってみませんか？

子供たちが、「こんな自分になりたい」と強く願い、努力し、たくましく成長することを願っています。



通知表を開いたときの親のリアクション次第で、子供をぐんと成長させるチャンスです！

1学期も残すところあと3週間で、待ちに待った夏休みに入ります。その前に、子供たちに通知表を渡します。

1年生にとっては初めての通知表です。通知表は『応援表』でもあります。1学期の学校生活で努力したことやできるようになったことなどを笑顔でほめてあげてください。

「大人は、だれも、はじめは子供だった」ことを思い出し、「自分が子供だったら…」と、子供目線でとらえながら、通知表がよりよい成長に役立つように、親子で1学期をふりかえり、これからの目標について話し合ってみてください。

子供たちは日々成長しています。がんばっているところや伸びているところを見つけてしっかりとほめてあげてください。大人も子供もほめてもらえると元気が出てきますよね。

熱中症対策や生活リズムに気を付けて、健康第一・安全第一の楽しい夏休みを過ごしてください。「読書」「家での仕事」にはぜひ挑戦してください。休み明けにはさらにたくましくなった子供たちと元気に会えることを楽しみにしています。

1学期の間、子供たちは元気に充実した学校生活を送ることができました。保護者の皆さま・地域の方々が子供たちのことを第一に大切に考えてくださったからだこそと感謝しています。本当にありがとうございました。

子 ど も

批判ばかりされた 子どもは 非難することをおぼえる

殴られて大きくなった 子どもは 力にたよることを おぼえる
笑いものにされた 子どもは ものを言わずにいることを おぼえる

皮肉にさらされた 子どもは 鈍い良心の もちぬしとなる

しかし、激励を受けた 子どもは 自信をおぼえる

寛容にであった 子どもは 忍耐をおぼえる

賞賛を受けた 子どもは 評価することをおぼえる

フェアプレーを経験した 子どもは 公正をおぼえる

友情を知る 子どもは 親切をおぼえる

安心を経験した 子どもは 信頼をおぼえる

可愛がられ 抱きしめられた 子どもは 世界中の愛情を感じることを おぼえる

作・ドロシー・ロー・ノルト

「あなた自身の社会 スウェーデンの中学教科書」新評論社刊より

 7月の行事予定

子供たちには、「森の朝」という紙芝居で、担任の先生が動物たちに変身して総出演するなど、楽しみながら、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さやゲーム・ネットが脳に及ぼす影響・姿勢の大切さについて学ぶことができました。

[illegible]

＜今後の主な予定＞